



● 各国駐日大使に高知県の魅力を発信 ● 高知県国際交流課

高知県で活躍する CIR

高知県国際交流課では、英語圏（英国、シンガポール）2名、韓国・中国それぞれ1名、計4名のCIRを配置し、県の国際交流業務を担当してもらっています。業務の内容は、県民への異文化紹介や友好都市との交流支援、県庁各課が行う経済・文化・スポーツ交流の通訳・翻訳などと幅広く、CIRは時には多大な準備を伴うこれらの業務に対して、常に努力を重ねながら取り組んでいます。

駐日大使視察ツアー in 高知

2018年10月に外務省と地方との連携事業を活用して、駐日各国大使夫妻14か国16名を招いた地方視察ツアーを実施しました。このツアーは高知県の歴史・文化・産業などに関する各現場を1泊2日で視察していただくもので、資料や説明は全編英語で行う必要がありました。

ツアーを実施するに当たっては、県の英語圏CIR2名と、高知市のCIR1名が日本人スタッフとチームを組み、視察内容の企画・資料作成・翻訳から当日の通訳およびアテンドまで、全ての業務をこなしツアーを成功に導きました。

視察先は文化施設、紙産業、酒蔵、水産業など多方面に渡ることから、CIRは入念な下見と事前打ち合わせのほか、役割分担を行いそれぞれの分野について資料を作成しました。例えば紙産業の視察に関しては、伝統産業である「土佐和紙」の製造過程や紙産業の歴史を事前に勉強し、当日さまざまな説明や質問に臨機応変に対応することができました。

来県した大使方からはツアーの内容に大変満足だったと賞賛の言葉をいただき、今後高知県とそれぞれの国の交流が進展することが期待されています。大きなチャレンジでしたが、CIRは「高知県についてより深く勉強できる良い機会だった」「ツアーの実施はよい経験になった」と感じてくれたようです。

今後も、各国のCIRには、本県の国際化になくてはならない存在としてさまざまな場面で活躍していただきたいと思います。



高知県で活躍する、4人のCIR
(左から、韓国、英国、シンガポール、中国より)



駐日大使に高知県の紙産業を紹介
(左から二人目が高知県 CIR)



駐日大使に高知県の水産業を紹介
(写真奥でしゃがんで説明しているのが高知市 CIR)